

コンピュータ概論のレポート

MS-Word & Excel

出題 2020/12/22

学科 数学科

学年 1 年

番号 9999

氏名 栗野俊一

1. Excel で作成した表やグラフを Word で利用する

基本は「コピー&ペースト」を利用するが、そのペースト形式には複数の方法があり、それによって得失がある。したがって、目的に応じて、手段を選択しなければならない。

対象による違い

- グラフと表では張り付け形式の種類が異なる

形式による違い

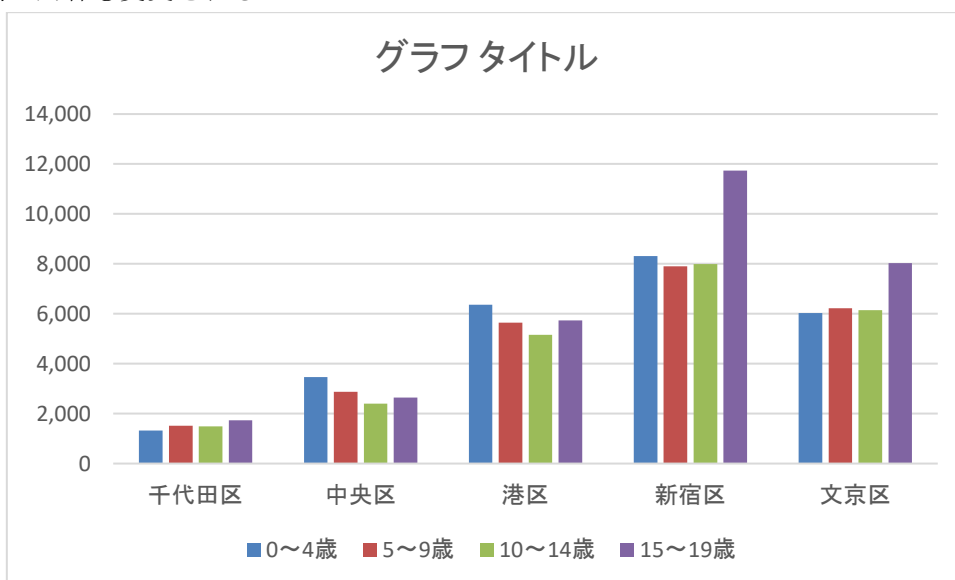
- リンクするかどうか
 - リンクすると、Word 内の情報と Excel の情報が同期する
Excel の情報を変更すると Word 内の情報も変更される
 - その代わりに、Word ファイルと一緒に Excel ファイルを持ち歩く必要がある
- 図にするかどうか
 - 図にすると表やグラフの表示が Excel で見たものと同じになる事が保障される
 - その代わりに Word から表内の情報を書き換える事ができなくなる

2. 張り付けの例

2.1 グラフの例

2.1.1 リンクする場合(3. 貼り付け先のテーマを使用しデータをリンク(L))

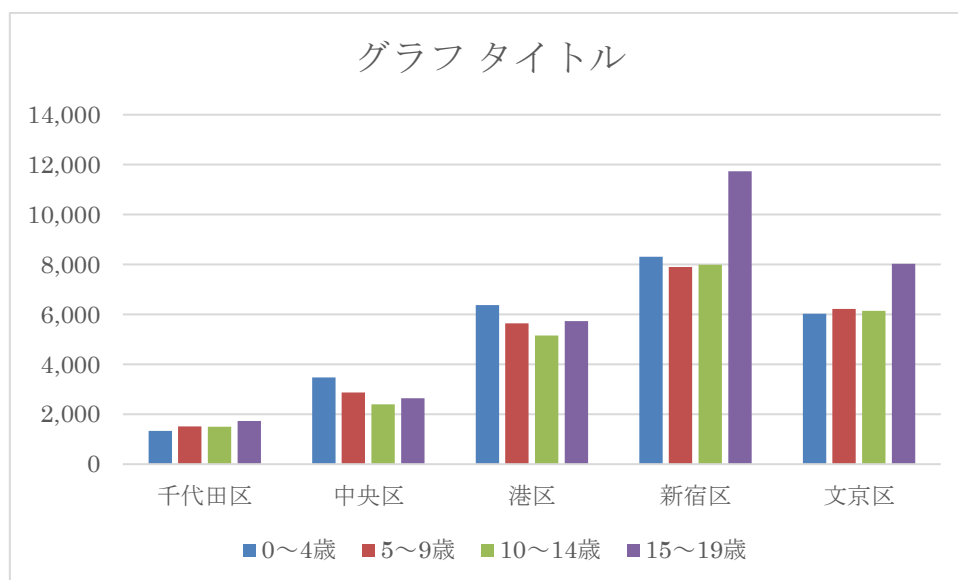
グラフの内容は Excel のデータとリンクされているので、Excel の内容を変更すると Word 側の内容も変更される



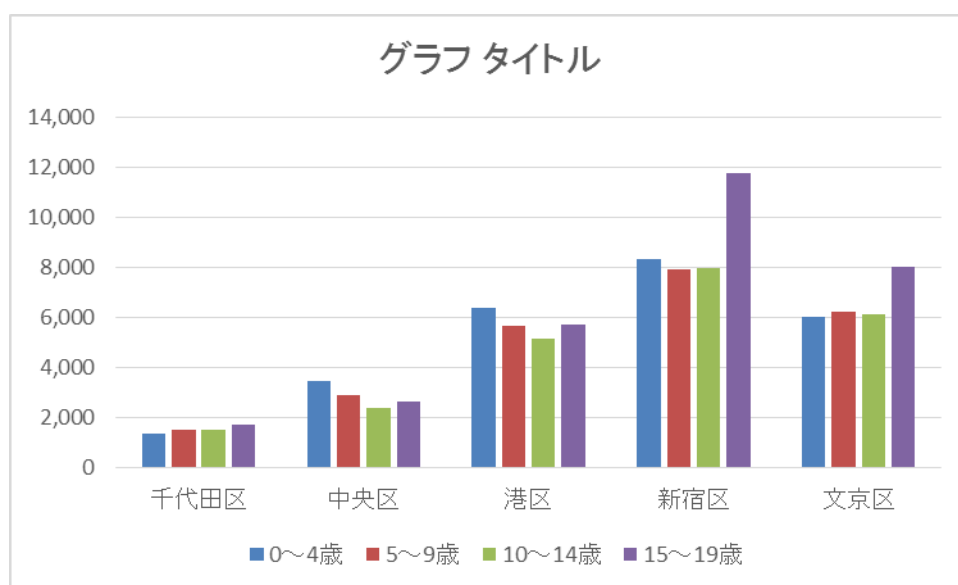
2.1.2 リンクしない場合

グラフの内容は Excel のデータと独立するので、Excel の内容を変更しても Word 側の内容は変更されない。

- a) ブックの埋め込み(1. 貼り付け先のテーマを使用しブックを埋め込む(H))
情報はコピーなので、オリジナルとは分岐がおきる。
描画は、MS-Word 側で行うので、編集可能。



- b) 図 (5. 図(U))
結果だけをコピー



2.2 表の例

2.2.1 リンク(リンク張り付け)の場合

- 「リンク（貼り付け先のスタイルを使用）」を指定した場合の例

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
千代田区	1,328	1,514	1,494	1,728
中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

表をクリックすると、自動的に Excel が起動し、該当する表が表示される。Excel 内で、その内容を変更すれば、Word の表の内容も変更される。

2.2.2 リンクしない場合

- 「貼り付け先のスタイルを使用」を指定した場合の例

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
千代田区	1,328	1,514	1,494	1,728
中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

情報は、Excel から独立していて、数値は Word 内で変更できる。
形式は、罫線付きのデータとなる。

- 「図」を指定した場合

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
千代田区	1,328	1,514	1,494	1,728
中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

図になるので、レイアウトも含め、Excel での表の形で保存される。

「図」なので、Word からは、内容を変更する事はできない。